

科目名		授業形態	担当教員名	
観察実習		実習	淡路 大致・嘉納 綾・小田 佳子 石橋 保子・佐野 広和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
45 時間（1 単位）		回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
観察実習では、2年前期までに学習した知識・技術を統合し、臨床の場で作業療法の実践を学ぶ。具体的には、臨床実習施設において実習指導者の臨床場面の見学を通し、どのような対象者がいて何を目標にどのような治療を実施しているのかを理解する。また、各施設における作業療法の機能・役割を理解する。				
授業の到達目標				
1. 実習生として適切な態度や行動をとることができる。 2. 経験したこと・学んだことを記録・報告できる。 3. 施設・物品の管理の手伝いができる。 4. 施設の特性とその施設における作業療法士の役割を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
	オリエンテーション			
	観察実習			
	実習期間：令和2年8月17日～8月22日			
	実習施設：病院、老人保健施設など学校が依頼し決定した施設			
	実習形態：同一施設で臨床実習指導者の指導のもと作業療法実践現場や関係部署の見学を行う			
	詳細については、オリエンテーション時に伝える			
	実習セミナー			
	施設での作業療法士の役割や治療・介入の目的などについての発表			
成績の評価と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	100%	実習内容・実習セミナーで総合的に評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
令和2年度観察実習の手引き（神戸総合医療専門学校 作業療法士科）				
自由記載				
備考				
実習は対象者や関係者、実習施設の好意により行われるため、感謝と礼儀を忘れないこと。日頃から健康管理につとめ、特に実習期間は健康に留意すること。麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎の抗体値が基準を満たしていることが、実習に参加する条件である。				